

## 京都大学宇治キャンパス・けいはんな産学交流会

京都の宇治、城陽、久御山地域は、高度なものづくりを営んでいる企業が多く立地しており、京都府の「みやこ」づくり地域戦略の中では、「次世代ものづくり産業創造拠点構想」として取り組もうとしています。その中で京都府中小企業技術センターと京都産業21では、この地域が持つものづくりのポテンシャルを引き上げようと、京都大学宇治キャンパスとの産学連携事業を開始しました。

第1回は、今年3月10日に実施し、最初に「エネルギー機器材料の創製と保全研究のための産業利用支援にむけて」とのテーマで文部科学省先端施設供用産学官連携事業の紹介を京都大学エネルギー理工学研究所木村晃彦教授からいただきました。この先端施設は、イオン加速器と原子レベルから様々のスケールで材料の解析、評価ができる装置をそろえており企業が利用できるようになっています。

次に、この施設を利用し、今話題になっている電気自動車のモーター等にはならないネオジム磁石のさらなる機能向上に向けて研究開発しているインターメタリックス(株)と宇治市に本社があり宇治キャンパスを活用し、次世代のプラズマディスプレイ等に活用の可能性がある薄膜材料の研究開発をしている三和研磨工業(株)の2企業のプレゼンテーションを行いました。

今後は、さらに宇治キャンパス発の技術シーズの活用を図るために、化学研究所、エネルギー理工学研究所、生存圏研究所、防災研究所の4つの研究所を中心に地元企業間同士の連携も深めることも予定しています。

また、この交流会をきっかけに京都の宇治、城陽、久御山地域の企業が京都大学宇治キャンパスを核とした域内の連携や産学連携を視野に入れた連絡会を組織していくことが動きはじめており、研究開発に意識の高い中小企業の連携が進みオープンイノベーションの風土が醸成されることが期待されます。

京都大学が企業のために装置を開放しています。

事業名:「イオン加速器とマルチスケール材料評価装置群による産業支援」(ADMIRE計画)



【お問い合わせ先】

京都府中小企業技術センター  
けいはんな分室

TEL:0774-95-5027 FAX:0774-98-2202  
E-mail:keihanna@mtc.pref.kyoto.lg.jp